



平成30年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年9月13日

上場会社名 ヤーマン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6630 URL http://www.ya-man.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山崎 貴三代
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)宮崎 昌也 (TEL) 03-5665-7330
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第1四半期の連結業績(平成29年5月1日~平成29年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第1四半期	6,097	9.6	1,648	48.9	1,626	46.2	1,048	41.9
29年4月期第1四半期	5,564	23.9	1,107	122.8	1,112	146.3	738	165.9

(注) 包括利益 30年4月期第1四半期 1,050百万円(42.8%) 29年4月期第1四半期 735百万円(165.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第1四半期	183.92	—
29年4月期第1四半期	129.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第1四半期	14,578	9,627	66.0
29年4月期	13,947	8,884	63.7

(参考) 自己資本 30年4月期第1四半期 9,627百万円 29年4月期 8,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	18.00	—	54.00	72.00
30年4月期	—	—	—	—	—
30年4月期(予想)	—	18.00	—	1.80	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成29年10月31日を基準日として、普通株式1株につき10株の割合で分割を行うことが予定されており、30年4月期(予想)期末配当金は、当該分割を反映しております。

3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日~平成30年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,558	△1.6	1,972	△14.7	1,962	△15.4	1,253	△16.5	219.78
通期	20,705	3.7	3,665	4.6	3,646	3.2	2,328	2.6	40.83

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成29年10月31日を基準日として、普通株式1株につき10株の割合で分割を行うことが予定されており、30年4月期通期1株当たり当期純利益は、当該分割を反映しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年4月期1Q	5,834,888株	29年4月期	5,834,888株
30年4月期1Q	132,069株	29年4月期	132,069株
30年4月期1Q	5,702,819株	29年4月期1Q	5,702,849株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、平成29年9月13日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

(株式分割について)

平成29年10月31日(火)を基準日として、普通株式1株につき10株の割合をもって株式分割を行うことが予定されております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7
(追加情報)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成29年7月31日)におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、不安定な国際情勢の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、引き続きコスト削減や社内体制の整備に取り組むとともに、ブランドイメージの浸透や国内外の新たな販路の開拓にも注力してまいりました。

特に店販部門の売上が好調だったことに加え、費用対効果を重視した経費支出が奏功したことなどにより、当第1四半期連結累計期間における売上高は6,097百万円(前年同四半期比9.6%増)、経常利益は1,626百万円(前年同四半期比46.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,048百万円(前年同四半期比41.9%増)と前年同四半期を上回る結果となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「海外部門」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しており、前第1四半期連結累計期間の情報は、変更後の区分により作成しております。

① 通販部門

通販部門では、テレビ通販会社向けの販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売等を行っております。

各販路ともに堅調であったものの、前年同四半期には及ばず、売上高は1,318百万円(前年同四半期比15.5%減)、セグメント利益は526百万円(前年同四半期比22.1%減)となりました。

② 店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

前連結会計年度に大きく伸長した免税店向け卸売事業が、当第1四半期連結累計期間においても好調を維持したことなどにより、売上高は2,554百万円(前年同四半期比70.5%増)、セグメント利益は1,154百万円(前年同四半期比84.9%増)と前年同四半期を大きく上回りました。

③ 直販部門

直販部門では、インフォーマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

インフォーマーシャルや各種媒体広告について、売上に対する効率を重視して支出する方針を継続した結果、売上高は1,554百万円(前年同四半期比13.8%減)と前年同四半期に及びませんでした。セグメント利益は574百万円(前年同四半期比54.2%増)と前年同四半期を大きく上回りました。

④ 海外部門

海外部門では、海外の通信販売業者、卸売業者、個人顧客等への販売を行っております。

中国向けの販売が安定して売上を計上したため、売上高は662百万円(前年同四半期比1.2%減)、セグメント利益は200百万円(前年同四半期比5.1%増)とほぼ前年同四半期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ631百万円増加し、14,578百万円となりました。現金及び預金の減少140百万円、商品及び製品の増加238百万円、未収入金の増加278百万円、無形固定資産の増加118百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ110百万円減少し、4,951百万円となりました。支払手形及び買掛金の増加751百万円、未払法人税等の減少545百万円、未払金の減少293百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ742百万円増加し、9,627百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,048百万円及び剰余金の配当307百万円による利益剰余金の増加740百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降につきましては、コスト削減や社内体制の整備などの取り組みを継続して行っていくほか、ブランド認知のための各種施策や新製品の開発にも注力し、更なる業績拡大を目指してまいります。

なお、平成29年6月13日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,460,290	8,319,334
受取手形及び売掛金	* 2,347,827	2,445,041
商品及び製品	1,091,534	1,329,935
仕掛品	32,031	37,763
原材料及び貯蔵品	162,392	151,802
未収入金	747,507	1,025,834
その他	248,408	301,496
貸倒引当金	△3,651	△15,886
流動資産合計	13,086,340	13,595,322
固定資産		
有形固定資産	400,847	407,671
無形固定資産	292,290	410,928
投資その他の資産	167,554	164,901
固定資産合計	860,692	983,502
資産合計	13,947,032	14,578,824
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	* 1,241,352	1,993,097
1年内返済予定の長期借入金	484,160	484,100
未払金	1,173,006	879,407
未払法人税等	1,203,989	658,749
賞与引当金	33,772	16,735
返品調整引当金	107,677	109,251
その他	206,852	319,781
流動負債合計	4,450,810	4,461,121
固定負債		
長期借入金	609,522	488,592
その他	1,762	1,542
固定負債合計	611,284	490,134
負債合計	5,062,094	4,951,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,313,795	1,313,795
利益剰余金	6,048,236	6,789,136
自己株式	△292,998	△292,998
株主資本合計	8,882,829	9,623,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,166	8,170
為替換算調整勘定	△4,057	△4,331
その他の包括利益累計額合計	2,108	3,838
純資産合計	8,884,938	9,627,568
負債純資産合計	13,947,032	14,578,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
売上高	5,564,203	6,097,458
売上原価	1,913,831	2,161,425
売上総利益	3,650,372	3,936,033
返品調整引当金戻入額	115,189	107,677
返品調整引当金繰入額	86,192	109,251
差引売上総利益	3,679,368	3,934,459
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,255,208	1,025,632
貸倒引当金繰入額	5,252	12,586
給料及び手当	173,462	186,745
賞与引当金繰入額	17,037	16,735
減価償却費	13,579	10,431
研究開発費	39,795	32,435
その他	1,067,678	1,001,108
販売費及び一般管理費合計	2,572,014	2,285,674
営業利益	1,107,353	1,648,784
営業外収益		
受取利息	107	71
受取配当金	26	202
為替差益	11,956	—
その他	1,644	1,391
営業外収益合計	13,735	1,664
営業外費用		
支払利息	4,254	4,142
為替差損	—	17,098
売上割引	1,769	1,552
その他	2,640	776
営業外費用合計	8,665	23,569
経常利益	1,112,423	1,626,880
特別利益		
固定資産売却益	31,921	—
受取和解金	—	36,650
特別利益合計	31,921	36,650
特別損失		
固定資産除却損	2,224	4,687
特別損失合計	2,224	4,687
税金等調整前四半期純利益	1,142,119	1,658,843
法人税等	403,220	609,990
四半期純利益	738,898	1,048,852
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	738,898	1,048,852

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
四半期純利益	738,898	1,048,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	263	2,003
為替換算調整勘定	△3,453	△274
その他の包括利益合計	△3,189	1,729
四半期包括利益	735,709	1,050,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	735,709	1,050,582
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、販売チャネルを基礎としたセグメントから構成されており、通販部門、店販部門、直販部門の三部門を報告セグメントとしておりましたが、前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「海外部門」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,560,131	1,497,824	1,804,248	670,999	5,533,202	31,000	5,564,203	—	5,564,203
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	8,757	8,757	△8,757	—
計	1,560,131	1,497,824	1,804,248	670,999	5,533,202	39,758	5,572,960	△8,757	5,564,203
セグメント利益	676,596	624,108	372,547	190,985	1,864,237	11,415	1,875,652	△768,298	1,107,353

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 △768,298千円には、セグメント間取引消去10,348千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△778,647千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成29年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,318,989	2,554,128	1,554,917	662,975	6,091,011	6,447	6,097,458	—	6,097,458
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	6,612	6,612	△6,612	—
計	1,318,989	2,554,128	1,554,917	662,975	6,091,011	13,060	6,104,071	△6,612	6,097,458
セグメント利益	526,793	1,154,234	574,368	200,708	2,456,105	3,123	2,459,229	△810,444	1,648,784

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△810,444千円には、セグメント間取引消去10,484千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△820,929千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当社は、平成29年6月13日開催の取締役会において、株式分割を実施することを決議いたしました。

1. 株式分割の目的

株式分割の実施により、投資家層の拡大と流動性の向上を図るものであります。

2. 株式分割の概要

平成29年10月31日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主が所有する普通株式1株につき、10株の割合をもって分割いたします。

3. 株式分割の時期

平成29年11月1日を効力発生日といたします。

4. 株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額	12.96円	18.39円